

安野光雅 ドイツの森

2024. 9/4 Wed. – 12/2 Mon.

同時展示 『赤毛のアン』 ～モンゴメリ生誕 150 周年～

開 館 午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
休 館 日 火曜日 祝祭日の場合は翌日休館
入 館 料 一般 1,000 円、中高生 600 円、小学生 400 円
場 所 京都府京丹後市久美浜町谷 764 和久傳ノ森
TEL/FAX 0772-84-9901

Mitsumasa Anno



『バスサウ』© 空想工房

主 催 森の中の家 安野光雅館
出展協力 津和野町立安野光雅美術館

森の中の家 安野光雅館

和久傳

ドイツの森

(津和野町立安野光雅美術館所蔵)

『ドイツの森』という書名にしたのは、初めてドイツにいった時の強烈な印象による。」
森があり、川が流れ、音楽が聞こえてくるようなドイツの風景です。



「ニユルベルク」 / 『ドイツの森』 © 空想工房



「ハイリゲンシュタット」 / 『ドイツの森』 © 空想工房



「ピクニック」 / 『赤毛のアン』 © 空想工房

赤毛のアン

永遠の名作「赤毛のアン」をふたたび。安野光雅の描いたいつもひたむきで明るく空想力に富んだアンの生き方は私たちに元気をくれるようです。アンの世界を愉しんで下さい。



「ハレ」 / 『ドイツの森』 © 空想工房



写真: 関野吹次



提供: 安野光雅美術館

安藤忠雄 (あんどう ただお)

安野光雅 (あんの みつまさ)

建築家。1941年大阪生まれ。代表作に「光の教会」「フォートワース現代美術館」「プンタ・デラ・ドガーナ」など。

画家。(1926年-2020年)94才逝去。絵本作家としてデビューとなった「ふしぎなえ」は世界中で好評となった代表作。

和久傳ノ森

植物生態学者の宮脇昭先生のご指導により、2007年より手がけた和久傳ノ森は、自然の恵みに感謝し、美しい地球環境を守っていききたいという願いをこめたものです。五十六種類の樹々三万本を苗木から植え、森が育ってきました。山椒の木やフキノトウなど四季折々の自然が息づいています。

和久傳の工房

豊かな自然の中で原材料を吟味し、地元の食材もふんだんに使用し、一つ一つ丁寧に手作りしております。れんこん菓子『西湖(せいこ)』、ちりめん山椒などの製造工程を回廊よりご自由にご覧頂けます。

画家・安野光雅の世界が、建築家・安藤忠雄の設計による美術館に広がる



交通のご案内

- 鉄道利用 京都丹後鉄道 久美浜駅、峰山駅から丹海バス久美浜線「谷工業団地前」下車、徒歩5分。和久傳ノ森におこください。
- タクシー 京丹後鉄道 久美浜駅から15分 京丹後鉄道 峰山駅から25分 JR豊岡駅から35分
- お車の方 京都縦貫道 京丹後大宮IC下車25分
- 駐車場 美術館前 バス台、普通車100台
- 駐車料金 無料



京都府京丹後市久美浜町谷764 和久傳ノ森

TEL・FAX:0772 84 9901



工房レストラン

wakuden MORI (モーリ)

〈和久傳ノ森〉のシンボルツリーとして植樹されている桑の木を表わすイタリア語「モーリ」より名付けられた工房レストラン wakuden MORI では、京丹後で収穫された野菜や魚を中心に、地元産の食材にこだわった食事やCaféでのお菓子やお飲み物をお召し上がりいただけます。併設しております美術館グッズ・限定品を揃えるsショップではお買い物もお楽しみいただけます。

レストランのお問い合わせはこちら

営業時間 10:00~18:00(ラストオーダー17:30)

TEL:0772(84)9898 FAX:0772(84)9899

休業日は美術館と同じです。

